

メールまたは郵送でご提出ください
<メールの場合はこちらをご確認下さい>

【送付用1/6】

送付期限 2020年12月11日(金)

【件名】第31回臨スポ出席確認

【本文】3項目を必ず記載してください。①登録番号(数字7桁) ②カナ氏名 ③生年月日(西暦)

【添付ファイル】出席確認カード



※右のQRコードを読み取るとメールが立ち上がります。

※本アドレスは受信専用アドレスです。

○アドレス:drat-kakunin@japan-sports.or.jp

○郵送先:〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

公益財団法人日本スポーツ協会 育成課 スポーツドクター/アスレティックトレーナー担当
第31回臨スポ 出席確認カード提出

日本スポーツ協会公認スポーツドクター・アスレティックトレーナー更新研修

第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会

出席確認カード

| | | | | | | | |
|---------------------|--|----------------|--|--|--|--|----------|
| 登録番号(7桁) | | | | | | | 生年月日(西暦) |
| フリガナ | | | | | | | 年 月 日 |
| 氏名 | | | | | | | |
| 保有資格 (○をつけてください) | | 公認スポーツドクター | | | | | |
| | | 公認アスレティックトレーナー | | | | | |

<ネームカード貼付欄>

- ※ 必ず学会参加証のコピーを貼付してください。領収証、領収証控、公認スポーツ指導者登録証は不要です。
- ※ 公認アスレティックトレーナーは BLS 資格の認定証(写)を併せて貼付してください。貼付がない場合、更新研修を受講したことになりません。

<ネームカード>

<BLS 資格認定証(公認 AT のみ)>

合計聴講時間

分

※合計 240 分以上の聴講が必要です

すべてのページに氏名を必ずご記入ください。

| セッション種別 | セッションテーマ | 演題名 | 時間 (分) | 聴講 |
|-------------------------------|--|--|----------------------------|----|
| 理事長講演 | | スポーツ医学の現状と課題 | 30 | |
| 会長講演 | | スポーツメディカルランド宮崎 | 30 | |
| 基調講演 1 | | スポーツが変わる。未来を創る。 | 50 | |
| 基調講演 2 | | スポーツのコア・バリュー | 50 | |
| 特別講演 1 | | スポーツドクターとして 44 年 | 50 | |
| 特別講演 2 | | 大規模スポーツ大会の医療安全体制～東京オリンピック・パラリンピックに向けて～ | 50 | |
| 海外招待講演 1 | | Getting Your Research Published : An Editor's Perspective. | 50 | |
| 教育研修講演 1 | ロコモティブシンドローム | ロコモの下肢運動療法に対する身体能力評価とフィードバック ロコモの体幹運動療法 | 60 | |
| 教育研修講演 2 | 頭部外傷/歯科外傷 | スポーツ頭部外傷診療のエッセンス スポーツ歯科外傷診療・予防のエッセンス | 60 | |
| 教育研修講演 3 | スポーツツーリズム | スポーツイベントのメディカルサポートーラグビーワールドカップおよび県メディカルソサエティにおける安全対策と今後の課題ー スポーツツーリズムにおける課題と安全対策 | 60 | |
| 教育研修講演 4 | イノベーション | スポーツ外傷に対する高気圧酸素治療の基礎と最近の話題 スポーツ外傷後関節症における再生医療を加えた間接温存治療法 | 60 | |
| 教育研修講演 5 | 感染症とスポーツ | 新型コロナ時代におけるスポーツ関連の感染対策 | 50 | |
| 教育研修講演 6 | 学童期/高齢者のスポーツ診療 | 成長期スポーツ診療の注意点 中高年者のスポーツ傷害後の間接温存手術の成績：膝関節を中心に | 60 | |
| 教育研修講演 7 | 内科疾患とスポーツ | 内科疾患の運動療法：代謝性疾患・糖尿病 内科疾患の運動療法：循環器疾患 心臓リハビリテーションとスポーツ | 60 | |
| シンポジウム 1 | アスリートに対するメンタルサポート | ピークパフォーマンスのためのメンタルパフォーマンストレーニング アスリートにみられる精神疾患のメディカルケア スポーツにおけるイップスーゴルフを中心にー アスリートに対する精神科スポーツドクター診療の実践と課題 | 10 10 10 10 | |
| シンポジウム 2 共催：日本スポーツ理学療法学会共催 | アスリートへのハイドロリリース、徒手のアプローチによる対応ー機能改善とパフォーマンス向上のための活用 | 徒手のアプローチの概念と適応から見たスポーツにおける可能性 スポーツ現場における徒手のアプローチの有効性と活用 徒手のアプローチの具体的な活用法 スポーツ障害に対する超音波ガイド下治療～外来・帯同現場にて～ スポーツ障害の超音波ガイド下治療 | 10 10 10 10 10 | |

氏 名 _____

※ 合計 240 分以上の聴講が必要です。

| セッション種別 | セッションテーマ | 演題名 | 時間 (分) | 聴講 |
|-----------|------------------------------------|---|-----------|----|
| シンポジウム 3 | スポーツ外傷・障害における最新の治療法 | 足部・足関節のスポーツ外傷における最新の手術療法 | 10 | |
| | | 大腿四頭筋腱を用いた前十字靭帯再建術の理論と実際 | 10 | |
| | | 股関節スポーツ外傷に対する股関節鏡視下手術 | 10 | |
| | | 肩関節スポーツ傷害における治療 update | 10 | |
| | | 肘離断性骨軟骨炎に対する体外衝撃波治療 | 10 | |
| シンポジウム 4 | 運動器の機能改善・向上と筋カトレニング | 学生選手の身体機能 柔軟性と筋力をいかに指導するか？ | 10 | |
| | | 筋肉を強く、大きくするために | 10 | |
| | | 柔道選手と筋カトレニング | 10 | |
| | | 運動における体幹の役割と体幹トレーニングの必要性の是非 | 10 | |
| シンポジウム 5 | スポーツ動作解析の基礎と臨床 | ラグビー競技におけるタックルの動作解析 | 10 | |
| | | 投球動作・泳動作における肩複合体の動作解析 | 10 | |
| | | 運動連鎖の観点から見た投球動作の評価指標 | 10 | |
| | | 股関節および足関節の動作解析 | 10 | |
| | | 慢性足関節不安定症が片脚着地動作時の膝関節に与える影響 | 10 | |
| シンポジウム 6 | スポーツコンカッション | ラグビーフットボールでの脳震盪の予防－脳震盪教育と競技規則の観点から－ | 10 | |
| | | アメリカンフットボールにおける取り組み | 10 | |
| | | スポーツコンカッションに対する柔道の取り組み | 10 | |
| | | スポーツコンカッションの最新の知見 | 10 | |
| | | スポーツ脳震盪の治療 | 10 | |
| シンポジウム 7 | チームキャンプに対するメディカルサポート | 宮崎県におけるラグビー代表チームに対するメディカルサポート | 10 | |
| | | 沖縄におけるチームキャンプに対するメディカルサポート体制の現況 | 10 | |
| | | チームキャンプに対するメディカルサポート プロサッカーチームの立場から | 10 | |
| | | 東海地区におけるプロ野球チームのサポート体制 | 10 | |
| | | チームキャンプに対するメディカルサポート：ナショナルチームの立場から | 10 | |
| シンポジウム 8 | コンディション調整のコツ | チームのコンディショニング～サッカー五輪代表の調整法～ | 10 | |
| | | 国体帯同時のコンディショニング(少年サッカー) | 10 | |
| | | フィジカル・コンディショニングの現状と課題 | 10 | |
| | | メンタルヘルス視点からのコンディショニング | 10 | |
| | | 宮崎県におけるアスリート食への取り組み | 10 | |
| シンポジウム 9 | スポーツ現場活動における法整備 | 海外遠征をおこなうチームドクターの法的問題点 | 10 | |
| | | マラソン医療・救護を円滑に進めるための法整備 | 10 | |
| | | 山岳スポーツにおける法的問題 | 10 | |
| | | スポーツイベント時の救護活動用ドローンと航空法 | 10 | |
| シンポジウム 10 | スポーツナースー スポーツ現場に Ns が参加する意義ー | スポーツ現場に Ns が参加する意義ートップアスリートのサポートよりー | 10 | |
| | | スポーツ大会救護で活躍する看護師：医師からの視点 | 10 | |
| | | 競技スポーツ界におけるスポーツナースとは | 10 | |
| | | スポーツ界におけるスポーツ救護ナースの必要性和活動報告(2019RWC を振り返って) | 10 | |
| | | スポーツを楽しむ子どもたちの健康支援に向けて | 10 | |

氏 名 _____

※ 合計 240 分以上の聴講が必要です。

| セッション種別 | セッションテーマ | 演題名 | 時間 (分) | 聴講 |
|-------------------------------|------------------------------|---|-----------|----|
| シンポジウム 11 後援: 日本障がい者スポーツ協会 | パラスポーツ | パラリンピックの歴史とこれから | 10 | |
| | | 進化するパラスポーツの現状 | 10 | |
| | | スポーツ用義肢装具の現状とパラリンピック | 10 | |
| | | 障がい者スポーツの底辺拡大に向けた取り組み～障がい者スポーツ指導員の立場から～ | 10 | |
| | | 地方におけるパラスポーツの現状と取り組み | 10 | |
| シンポジウム 12 | 発達障がい児／知的障がい児に対するサポート、スポーツ医学 | 知的障がい児スポーツ現場の現状－特に水泳に関して－ | 10 | |
| | | 発達障がい児／知的障がい児に対する乗馬の効果 | 10 | |
| | | 発達性協調運動障がい児におけるスポーツ指導の課題 | 10 | |
| | | 精神障害者スポーツの歴史と現状 | 10 | |
| | | 地方における知的障がい児に対するスポーツサポート | 10 | |
| シンポジウム 13 共催: 日本小児整形外科学会 | 少年野球の未来－野球検診の意義と各地域の特色－ | 小学生野球検診における徳島県の取り組み－上腕骨小頭障害の早期発見に着目して－ | 10 | |
| | | 少年野球検診の現状と課題: 宮崎県の特徴 | 10 | |
| | | スポーツ現場に役立つ医療を目指して取り組む少年野球検診 宮崎県での取り組み | 10 | |
| | | 少年野球検診の現状と課題: 名古屋市圏の特徴 | 10 | |
| | | 少年野球検診の現状と課題: 岡山県の特徴 | 10 | |
| | | 京都府における少年社給検診の現状と課題 | 10 | |
| シンポジウム 14 | アスリート患者の診察法・対応法のコツ | トップアスリートの診察と対応について | 10 | |
| | | 突発死予防のための循環器系メディカルチェックの実際 | 10 | |
| | | 当科における中学・高校部活動生に対する対応と手術のタイミング－膝前十字靭帯損傷を例に－ | 10 | |
| | | 投球障害に関する潜在的な病態と機能障害 | 10 | |
| | | アスリートの腰痛 | 10 | |
| シンポジウム 15 | スポーツ現場におけるエコーの活用 | 投球障害肩に対するエコーの活用 | 10 | |
| | | サッカー選手に対する膝エコー－利点と限界－ | 10 | |
| | | 足部・足関節領域におけるスポーツ現場でのエコーの意義と活用法 | 10 | |
| | | チーム帯同時のエコーの活用 | 10 | |

氏 名 _____

※ 合計 240 分以上の聴講が必要です。

| セッション種別 | セッションテーマ | 演題名 | 時間 (分) | 聴講 |
|---------------|----------------------|--|-----------|----|
| パネルディスカッション 1 | サーフィンのメディカルサポート | サーフィン医科学発展のための 10 年間の活動報告 | 10 | |
| | | サーフィンのメディカルサポートのあり方＝救急搬送事例の考察から＝ | 10 | |
| | | サーフィンメディカルサポートの競技特殊性－テニスのサポートと比較して－ | 10 | |
| | | 東京オリンピック・パラリンピックにおけるメディカルサポート－医師の立場から－ | 10 | |
| | | 東京 2020 メディカルサポート－理学療法士の立場から－ | 10 | |
| | | 地方で開催される国際サーフィン大会メディカルサポートの問題点－2 大会の経験から－ | 10 | |
| パネルディスカッション 2 | 国際メガスポーツのメディカルサポート体制 | 2017 冬季アジア大会の医学サポート体制 | 10 | |
| | | 国際メガスポーツ大会におけるバレーボール競技のメディカルサポート体制 | 10 | |
| | | 2019 女子ハンドボール世界選手権大会の医療報告 | 10 | |
| | | ラグビーワールドカップ 2019 におけるメディカルサポート | 10 | |
| | | メガスポーツイベントにおけるマスギャザリング医療 | 10 | |
| | | ワールドマスターズゲームズ 2020 関西に向けた医科学と社会実装の取り組み | 10 | |
| パネルディスカッション 3 | 柔道のメディカルサポート | ナショナルチームサポート: 医師の立場から | 10 | |
| | | ナショナルチームサポート: 理学療法士の立場から | 10 | |
| | | ナショナルチームサポート: AT の立場から | 10 | |
| | | COVID-19 パンデミック後における柔道の段階的練習再開に関する取組～全日本柔道連盟医科学委員会の指針作成～ | 10 | |
| | | 柔道のメディカルサポート: 地方医師の立場から | 10 | |

氏 名 _____

※ 合計 240 分以上の聴講が必要です。

| セッション種別 | セッションテーマ | 演題名 | 時間 (分) | 聴講 |
|---------------|---------------------------------|--|-----------|----|
| パネルディスカッション 4 | 人工関節とスポーツ活動 | 当院における THA 術後のスポーツ活動の現状～運動習慣獲得を目指した「ロコプラウオーキング」の取り組み～ | 10 | |
| | | TKA 術後のスポーツ復帰に向けて | 10 | |
| | | より高いレベルのスポーツ活動を目指した TKA | 10 | |
| | | 肩の人工関節とスポーツ活動 | 10 | |
| | | TAA とスポーツ活動－エキスパートオピニオン | 10 | |
| パネルディスカッション 5 | アスリートの競技力向上のために～新規治療・デバイスの開発と現状 | スポーツ現場における IT 医療支援システムの構築－現場とスポーツドクターを繋ぐ、テレメディシンデバイスの可能性に関して－ | 10 | |
| | | 高校－プロ野球選手の肘障害の発症メカニズムを基にした提言－肘内側障害(肘尺側々副靭帯損傷と尺骨神経障害)を中心に－ | 10 | |
| | | 投球障害に対する新しい評価、治療戦略 | 10 | |
| | | 下肢スポーツ傷害からの競技復帰へ向けた動作分析 | 10 | |
| | | アスリートの競技力向上のためのスポーツシューズ・インソールの現状 | 10 | |
| | | スポーツ外傷・障害に対する細胞治療 | 10 | |
| パネルディスカッション 6 | 女性アスリートに対するメディカルサポート | 競技特性を考慮した女性特有の問題への対策と支援体制の現状 | 10 | |
| | | 女子陸上競技選手に対するメディカルサポート | 10 | |
| | | バレーボール女子日本代表チームにおけるメディカルサポート | 10 | |
| | | なでしこジャパン(サッカー日本女子代表)メディカルサポート－FIFA Women's World Cup France 2019 帯同報告－ | 10 | |
| | | 女性アスリートにおけるメンタルサポート | 10 | |
| フェニックスセミナー1 | | 膝周囲骨切り術で開拓する『中高年者の生涯スポーツ復帰への道』 | 60 | |
| フェニックスセミナー2 | | 半月板温存手術のための基礎知識と手術手技 | 60 | |
| フェニックスセミナー3 | | 足関節外側靭帯手術における Novel technique と最新情報 | 60 | |
| フェニックスセミナー4 | | 健康寿命延伸のために我々が行うべきこと、我々自身が改革すべきこと | 60 | |
| フェニックスセミナー5 | | 腰痛治療の trial and error | 60 | |
| フェニックスセミナー6 | | 人工関節とスポーツ | 30 | |
| フェニックスセミナー7 | | 頸椎・頸髄のスポーツ傷害と神経再生医療 | 30 | |
| フェニックスセミナー8 | | スポーツ外傷・障害の予防×再生医療～prevention is better than cure～ | 60 | |
| フェニックスセミナー9 | | エコーを活用した医師とメディカルスタッフの連携 | 60 | |

合計聴講時間

分

氏名

※ 合計 240 分以上の聴講が必要です。